

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境					0.40				3.2
1 音環境				3.0	0.15				3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				3.2	0.35				3.2
2.1 室温制御				3.5	0.50				
1 室温		窓システムSC:0.2程度		3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能				5.0	0.25	5.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38				
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.0	0.25				3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30				
1 昼光率				3.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口					-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30				
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				3.6	0.25				3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50				
1 化学汚染物質		内部仕上は全てF☆☆☆☆又は告示対象外とする		4.0	1.00	4.0	-		
4.2 換気				3.3	0.30				
1 換気量		居室において単位換気風量Q=30m ³ /h・人確保		4.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20				
1 CO ₂ の監視				3.0	1.00				
2 喫煙の制御					-				
Q2 サービス性能					0.30				3.7
1 機能性				3.7	0.40				3.7
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40				
1 広さ・収納性				3.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		執務エリアにOAフロアを計画、OA負荷容量50VA/m ² 以上確保		5.0	0.33	5.0	-		
3 パリアフリー計画		パリアフリー新法に要求する最低限の基準を満たしている		4.0	0.33	4.0	-		
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30				
1 広さ感・景観		事務室天井を2.7m以上を確保		4.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33				
3 内装計画		機能を明確し、インテリアパースによる内装計画の検証を行っている		4.0	0.33				
1.3 維持管理				3.5	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		内外装における維持管理に配慮した設計を行っている		4.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				4.2	0.30				4.2
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.6	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		基準より50%増の耐震性を有する		5.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途の3種のうち2種以上にB以上、Eは不使用。更新間隔は15		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				4.4	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備		衛生器具は節水型、将来的に雑排水利用を想定、受水槽に非常時用		4.0	0.20				
3 電気設備				5.0	0.20				
4 機械・配管支持方法		耐震Sクラス		5.0	0.20				
5 通信・情報設備				5.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.1	0.30	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			3.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高を3.7m以上を確保	4.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m]=0.71	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		太陽光発電設備、自然通風、ナイトバージ等	5.0	0.10	-	-	5.0
3 設備システムの効率化		[BEI][BEI _m]=0.47	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			4.0	0.20	-	-	4.0
集合住宅以外の評価			4.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		主要水栓は定流量弁付、大便器および小便器は節水タイプ	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装下地はLGSを設け、躯体と容易に分別可能としている	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	電算室に不活性ガス消火(窒素)を設置	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルにおけるCO2排出量は参考値の61%まで低減	4.5	0.33	-	-	4.5
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	